

日本法医学画像研究会 第24回法医学画像勉強会開催後記

令和5年9月23日、福井県商工会議所会議室 A&B にて、第24回法医学画像勉強会を開催しました。例年のプログラムでは午後開始でしたが、死後画像読影ワークショップを開催するため、午前10時から開始する、変則プログラムとなりました。

午前のワークショップは端末使用可能な20名の定員が満席となり、聴講参加の先生もたくさんいらっしゃいました。ワークショップでは通常の死後変化（講師：村上先生）・法医学的な特徴的な死後画像（榎野先生）に引き続き、通常の死後画像閲覧時のチェック項目の供覧（兵頭）を行いました。

昼食休憩後、午後1時から午後5時まで勉強会を行いました。指定講演は「モバイル端末を用いた3Dスキャンと法医学への応用の可能性」（福田先生）・特別講演は「救急外来の死後画像の実務」（塩谷先生）。続いて、一般演題8題・死後画像読影カンファレンス（舟山先生・真橋先生）と多くの先生にご発表いただき、質疑応答も活発に行っていただきました。

参加人数内訳	
会員	39
非会員	15
学生	4
福井県警・海上保安庁	10

懇親会を同会議所地下の国際ホールにて開催しました。多くの先生方にご参加いただき、勉強だけでなく交流の場として、本研究会が果たす役割が再認識された第24回となりました。

次回（第25回法医学画像勉強会）は、筑波大学の高橋遥一郎教授が世話人となり、令和6年3月9日（土曜日）につくばで開催される予定です。再び皆さまとご一緒できますことを大変楽しみにしております。

最後に、研究会開催にあたり御尽力いただきました運営委員会の諸先生方、ご参加いただきました諸先生方、準備にお手伝いいただきました教室員の皆さまにこの場をお借りして深謝いたします。

第24回法医学画像勉強会 世話人
福井大学医学部 法医学 兵頭秀樹

死後画像ワークショップ



画像勉強会

